

私たちの暮らしを支える税を考える


山形市立第二中学校教諭 3学年 澁谷 俊

実施年月日：28年12月 28名

1 実践計画・指導のねらい

1 学期に税の学習についてアンケートをとると、税の学習に興味がある生徒は約半分程度であった。また税の種類や使い道については、ほとんどの生徒が具体的には答えられなかった。そこで、まず税金の種類やしきみについて理解させるために「税の教室」を活用し、税理士の方からお話をいただいた。専門家による具体的なお話は、ほとんど何も知らない生徒にとっては驚くことが多く、大いに学習意欲が高まったようである。その上で、次の授業は税金の公平な負担について多面的・多角的に考察し、税の制度について理解を深めるようにした。さらに発展的な学習として、「消費税は何%がいいか」というテーマの話し合いを通し、消費税が引き上げられる背景について理解を深め、社会参画への資質や能力を養うことをねらいとして授業を進めた。

2 単元構成・実際の指導状況 (単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導)

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・税理士の方のお話を聞いて税金とその役割について理解し、財政との結びつきに気づく。	○ 税金は私たちの生活の中でどのような役割を果たしているか ● 学校にもたくさんの税が使われている ● 税金は生活の上で役立っている □使用教材名 パワーポイント資料 「わたしたちの生活と税」 

【指導のポイント】<1時間目>

外部講師として税理士の方からお話をいただく機会を得て、内容が授業と重複することを避けるためもあり、思い切って最初にお話をいただくことにした。ほとんど何も知らない状態でも、わかりやすく説明して下さったので、税が生活に身近なものであることを実感することができた。次の授業への意欲も高まり、大変効果的であった。



時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
2	・もしも税金がなかったら、どのようなことが困るかという課題を通して、日本の税の現状と課題について考える。	○ もしも税金がなかったら私たちの生活はどのように変わるか ● ゴミ処理や学校で勉強することの個人の費用負担が大きくなり、みんなが困ることになる ● 日本の税金のしくみや税率は、今のままで充分なのか □使用教材名 税のビデオ「アナザーワールド」 副教材「わたしたちの暮らしと税金」
3	・「消費税は何%がいいか」というテーマについて「国の財政の問題から」「景気対策の問題から」「今の税金や社会保障の課題から」の3つから1つずつ分担を決めて調べ、それを持ち寄って発表し、課題に対する結論を出す。	○ これからの社会を考えて消費税は何%にすべきか? ● 消費税は8%のままでいい ● 予定通りの10%に上げた方がいい ● 思い切って20%くらいまで上げるべきだ □使用教材名 新聞記事「消費税率10パーセントに向けて」 財務省アンケート調査結果 「消費税について」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <学習の流れ> 分担課題グループで検証(ジグソー) ↓ ホームグループで発表・結論を出す ↓ 全体討議で発表 ↓ 個人でふりかえり </div>

【指導のポイント】<2時間目>

テネシー州サウスフルトン市の消防車有料の例や日本と海外の救急車の料金などを比較したところ、生徒の関心が高まり、現在の日本の税金のしくみについての理解が深まり、逆に課題はないのか等、次の話し合いの動機づけにも導くことができた。

【指導のポイント】<3時間目>

以下の4場面を設定して行った。話し合いを通して、税と国民生活について深く考えることができた。

- ・3つの同じ分担課題のグループでお互いの意見を聞き、自分の出した結論を話し合いながら検証し、考えを深める。(ジグソーグループ)
- ・ホームグループで、自分が調べて結論を出した担当項目について発表し合い、結論を出す。
- ・全体討議で、ホームグループで話し合ったことをもとに、学習課題に対する意見を発表する。
- ・最後に「財務省アンケート調査結果」を見て、今後の日本の税や社会保障のあり方について自分の考えをまとめる。

3 実践の成果 (◎)と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ はじめに専門家である税理士の方から具体的データに基づいたお話をいただいたことにより、生徒の税についての関心を高め、深く考えていこうという意識を高めることができた。
- ◎ 中学生向けの副教材やDVDを活用したことで、実感を持って自分たちの生活が多くの税によって支えられているという理解することができた。
- ◎ 生徒にとって身近な消費税を題材に話し合いをしたことで、社会参画意識が高まり、これからの社会のあり方にまで考えを深めることができたようである。
- ◆ 資料中の説明文や語句は中学生にもわかりやすく書かれてあるが、中には難しいと感じる生徒もいるので、時間の確保や読み取りの支援が必要である。